



せいひ会だより



9月の行事

- 09日 陶芸教室(通所)
- 14日 敬老会(風和・寿限無)
- 15日 中山郷・せいひ会合同敬老会
- 16日 誕生会(元亀・通所)
- 19日 お月見(風和・GH)
- 27日 通報訓練(風和)



毎年恒例となった中山郷・せいひ会合同敬老会。7回目となった今年も、歌や踊りで大盛況！特に盛り上がりを見せたのは龍踊り！太鼓やラッパに合わせて力強く舞う龍を、間近に見た皆さんからは歓声と大きな拍手が送られました。
今年も約250名の皆さんにご参加・ご協力いただきました。ありがとうございました。

10月の行事予定

- 09日 長崎くんちを楽しむ会(寿限無)
- 14日 陶芸教室(通所)
- 18日 運営推進会議(GH)
- 19日 秋のお茶会(じゅげむ)
- 20日 運動会(風和)
- 21日 誕生会(元亀・通所)
- 25日 夜間想定消防訓練(風和)
- 29日 ミニ運動会(通所)



衣替えについて

朝晩がひんやりと感じる季節となってまいりました。冬物の衣類を準備していただき、夏物の衣類の持ち帰りをお願いしています。お持込み頂く衣類には、全てお名前をご記入ください。
(持ち主不明で衣類が迷子になります)
①洗濯して記入した名前が消えないですか？
②直接書けない衣類には、別布に名前を記入して縫い付けてください。

2013年(平成25年)
10月1日発行
<第162号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

☆9月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は予防通所リハビリ：酒井 愛子様にお話を伺いました。

大正11年、大阪市生野に5人兄弟の4番目として生まれる。小さい頃はお転婆だったと話される。小学校卒業後、英語スクールに1年入学。2年生から4年間ミッションスクールに通った。「英会話は得意で楽しかった」そうだ。また走るのも速く、女学校時代からリレーの選手に選ばれていたとのこと。
卒業後三井物産に3年勤務。事務仕事でタイピューターを打っていた。その後結婚し、2人の子供に恵まれた。

趣味は映画鑑賞と旅行で、世界中周ったと話される。「ニュージーランドは自然が綺麗で、スペインでは牛追い祭りを見て迫力がありました」とのこと。また、「ヨーロッパは自然や街が綺麗で、北欧では船から

クジラや氷河が見えて良かった」そうだ。今でも一人で飛行機に乗って大阪に帰られており、これからも出来る限り続けたいと話されていた。

お孫さんと大阪で暮らしていたが体調を崩し、平成22年に長男の引っ越し先の西海市で同居することになった。「こっちへ来てから体調も良くなり、長男夫婦・孫に囲まれ幸せです」と話される。

平成24年2月から通所リハビリを利用。皆と話をしたりリハビリやレクリエーションで体を動かして楽しいとのこと。

「これからも元気で通所に通ってきます」と笑顔で話されていた。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいいひ会を利用される皆さんの中には、このバシリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

(風和) 立石ミドリ
運動会
子供が走れば自分も走る

(風和) 岩田トエ
秋の収穫実りの秋が待ち遠しい

(風和) 指方美代子
毎日を楽しく生きようと夜に目覚めて思いたり

(風和) 作中和子
月を見上げてしばし語らん

(通所) 竹下晶子
生き友も傍にいるよな敬老会

(風和) 中島マツ
岩者の年を知る

寿限無 藏本幸保

ちぎり絵による「富士山」です。



通所利用者共同作品

1ヶ月半かけて作られた壁面飾りです。



せいいひ会各施設で、今年度100歳を迎える利用者のもとへ、市職員の方々が来苑されお祝い状等が送られました。



【元亀の里】辻 せい様

【元亀の里】谷口サト様

【寿限無】中島シナ様

【寿限無】田添才コ様

うたの時間



祝 敬 老



寿限無では、9/14に「祝い膳」が振る舞されました。メニューは、散らし寿司やローストビーフ等、色とりどりの料理がぎっしり！ふたを開けた利用者の方々も笑顔になり、普段は少食の方も、この日はしっかり召し上がっていました。

お月見会

GH



風和

9/19は中秋の名月。今年は雲もなく、最高の月見日和となりました。大きくてきれいな月を見ながら「昼間に作った月見団子、月を見ながら食べたかったなあ…」そんな声も聞かれていたようです。

通報訓練

9/27、風和の里で通報訓練を実施しました。自動通報装置等についての説明後、消防局への連絡訓練を行い、緊急時に速やかに対応できるよう備えています。



ケアマネ 敏美 の独り言

〈合同敬老会を終えて〉

地元中山郷とせいひ会合同の敬老会が、去る9月15日(日)に開催されました。今年でもう7回目。大きく変わったことはなく、例年通りの内容にて開催したのですが、嬉しいことに参加者も余興も年々増えていき、特にボランティアの数は大幅に増え、広い会場が狭く感じた今年の敬老会でした(微笑)。

今年は、「長崎市民ネットワークの会」による「龍踊り」も初登場！「会場では思いっきり龍を振れない」とのことでのことで、会場わきの中庭にて披露。外でしたので「爆竹」も鳴らしながらの本格的な龍踊りでした。(超感動・拍手喝采！！)

そんな敬老会も無事に終了し、挨拶がてら自治会の打ち上げ会場である公民館へ出向き、区長や世話役の方々と談笑したのですが、その会話の中で区長さん達より「いや～、山口君。毎年お疲れさん。年々、余興が増えて大変だろうがすごくいい

事だよね。だって、ボランティアで出演してくれる人たちは地元の敬老会を断つてまでこの合同敬老会に毎年来てくれる。それだけこの合同敬老会が素晴らしいということの証明だと思う。他の地域の区長たちからもうらやましがられる。」との言葉をいただいた。

年々、会場が「手狭」になっていって、敬老会の時間もだんだん長くなり、今後の合同敬老会が心配になっていたが、地元・中山郷のみならず、他区住民も少しではあるが巻き込んでいると実感できた言葉であった(感謝)。

今後も、「地域に根差した社会福祉施設の実現」を目指そうと思えた瞬間でした。

合同敬老会に参加されたみなさん、お疲れ様でした。また来年もよろしくお願いいたします！！(満笑)